



新型コロナウイルスの対応について

熊本市内において新型コロナウイルス感染者が確認されたことを踏まえ、熊本市教育委員会から2月23日付で今後の対応についての通知が出されました。

出席停止の措置等、その一部については昨日のメールでお知らせしたとおりです。本日、新たに臨時休校の措置をとる場合、今後の行事等についての方針を示した文書を配布しました。ご確認ください。

その文書の中でもお知らせしていますが、感染拡大防止の観点から全校で体育館に集まるような活動は極力控えるようにします。

そのため、3月5日（木）に予定されていた学級懇談会・PTA総会は中止します。総会での決議事項については紙面で案内される予定です。

また、音楽集会や委員会の活動報告など、子どもたちが企画・運営している活動も予定されていましたが校内でのテレビ放送等で実施したいと思います。本校の場合、昨年PTAから各教室の電子黒板と校内放送をつなぐためのTVチューナーを寄贈していただきましたので、映像での校内放送が可能です。修了式や退任式等についても、このテレビ放送で行う予定です。

教室の換気、手洗いうがい等の徹底にあわせ、しばらくはグループでの話し合いや給食等もできるだけ控えるようにしました。校内でのマスクの着用も実施していきます。マスクについては手に入りにくい状況にありますが、可能であれば登下校においても着用できるようご配慮ください。

感染拡大防止のため、できることを確実に実行し、安心安全な学校生活を送れるようにしていきたいと思えます。ご家庭においても今まで以上にお子様の健康状態をしっかりと見ていただき、手洗い、うがい、規則正しい生活等の健康管理を宜しくお願いいたします。

ただ、一つ気になるのは新型コロナウイルスの世界的な流行に伴い、各地で様々な差別事象も発生していることです。国内でも感染が相次いで確認される中、感染者や中国の方に対する誹謗中傷や心無い書き込み等がSNS等で広がっているようです。また、感染者の治療にあたっている医療機関関係者の家族が差別にあった、との報道もされています。

新型コロナウイルス感染症に関連して、誤った情報に基づく不当な差別、偏見、いじめ等があってはなりません。不確かな情報に惑わされて人権侵害につながることをないよう、私たち大人が正しい情報に基づいた冷静な行動をすることが必要です。その姿を見て子どもは学びます。この機会に、子どもと一緒に今回の差別事象について話し合ってみませんか。